

2010年大田原市文学サロン●10月23日(土)

「時を楽しみ時を駆ける」現代から幕末へ」

2002年「第18回平和の日・那須の集い」がこの地で開催されました。それから早8年、2003年「大田原市文学セミナー」から数えて第8回。2010年大田原市文学サロン「時を楽しみ時を駆ける」現代から幕末へ」が今、豪華に開演します。

秋です。今年も恒例となりました「大田原市文学サロン」の季節が巡ってまいりました。この文学サロンのファンも、回を追うごとに増えているように見受けられ、嬉しいかぎりです。皆さまに楽しんでいただきたいと毎回プランを練っておりますが、さて、今年のサロンはいかがでしょうか。

●第一部 ● 講演

おちあいけいこ
落合恵子

「加齢の醍醐味」

第一部は講演です。軽妙な筆さばきで時勢を切り取ってみせる執筆活動や全国を走りまわる講演活動、テレビのコメンテーターとしてもお茶の間ではお馴染みの落合恵子さんをお迎えしました。落合さんは子どもの本の専門店「クレヨンハウス」を主宰しておられることでも知られています。

このように活動されながらも、安らかな最期の時を迎えられたお

●第二部 ● 対談

うえまつみどり たかはしちちはや
植松三十里VS高橋千劍破

「龍馬とお龍」 歴史と文学の間」

母様の介護にも手を抜くことなく、精力的に生きてこられた日々の中から得た、幅広い知識の一端をお話いただけたと思います。今回のお話は「加齢の醍醐味」。高齢化社会といわれる日本にあって、どのように歳を重ねてゆくのか、今をどう楽しむのか、大変興味深いテーマで、お話が楽しみです。

時は一気に幕末へ。

幕末から維新へと、日本が大きい

く変わった時代、大きなうねりの中で生き抜いた人々。その中心で活躍した坂本龍馬。歴史を動かした人物の一人として、昨今、NHK大河ドラマや雑誌等で話題沸騰の龍馬とその妻お龍を中心に、幕末を一気に駆け抜けた人物たちの虚と実を語っていただきます。丹念に取材を重ねて執筆する、今、一押し時代の小説家の植松三十里さんと、大田原市文学サロンではお馴染みの歴史文芸評論家高橋千劍破さんの、軽妙な対談をお楽しみください。
(文責/日本ペンクラブ事務局)



昨年の文学サロンでは、故立松和平氏が講演
(平成21年11月28日開催)

○構成/演出

日本ペンクラブ企画事業委員会

○製作

日本ペンクラブ企画事業委員会

○主催

大田原市・日本ペンクラブ

入場のご案内

●日時

10月23日(土)

午後2時〜4時30分(開場午後1時)

●場所

大田原市総合文化会館

●入場料

無料。ただし、入場整理券が必要です。

●入場整理券の配布

9月22日(水)から、左記の場所
で先着順に500枚配布します。
混雑が予想されますので、整理券が必要な枚数のみお受け取り
ください。

○配布場所

・政策推進課総合企画担当(本庁
舎3階)

・湯津上支所総合窓口課管理係

・黒羽支所管理課管理係

○配布時間

午前8時30分〜午後5時15分
(土・日・祝日を除く)

●問い合わせ

政策推進課総合企画担当

TEL (23) 1309

2010年大田原市文学サロン●出演者プロフィール



落合 恵子

おちあい けいこ

1945年栃木県宇都宮生まれ。作家・東京家政大学特任教授。執筆と並行して、東京表参道、大阪江坂に、子どもの本の専門店クレヨンハウス、女性の本の専門店ミズ・クレヨンハウス主宰。総合幼児教育雑誌『月刊クーヨン』発行人。最近の主な著書『母に歌う子守唄～わたしの介護日誌』、『母に歌う子守唄～その後』（朝日新聞社）、『崖っぷちに立つあなたへ』（岩波書店）、『絵本処方箋 ころころに効く絵本たち』（朝日新聞社）。日本ペンクラブ理事。



植松 三十里

うえまつ みどり

静岡市出身。1977年、東京女子大学史学科卒業後、婦人画報社編集局入社。7年の在米生活、建築都市デザイン事務所勤務などを経て、フリーランスのライターに。2003年『桑港にて』で歴史文学賞受賞。2009年『群青 日本海軍の礎を築いた男』新田次郎文学賞受賞。2010年『彫残二人』で中山義秀文学賞受賞。『お龍』など著書多数。日本ペンクラブ会員。



高橋千劔破

たかはし ちはや

1943年東京都に生まれ、埼玉県大宮市で育つ。立教大学卒業後、人物往来社入社。月刊『歴史読本』編集長、同社取締役編集局長を経て96年退社、執筆活動に入る。『花鳥風月の日本史』で尾崎秀樹記念大衆文学研究賞を受賞、09年には『名山の日本史』『名山の文化史』『名山の民俗史』の名山3部作（河出書房新社）を完成。また、『遠藤周作歴史小説』全7巻及び早乙女貢著『会津士魂』全21巻の全解説を手がける。その他『歴史を動かした女たち』『歴史を動かした男たち』『江戸の旅人』など著書多数。大衆文学研究会幹事長、日本ペンクラブ常務理事。